
ベットの上で

ムー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ベットの上で

【コード】
N0043K

【作者名】
ムー

【あらすじ】
死体の降る町で
死体を片付ける女の子と

(前書き)

オープニング
ひろわれた後

(僕は夢を見た。友達と、戦いと。
僕は逃げた。ことになるのかな？
もう死を見つめるのはイヤだな。)

「ん・・・」

「！よかった、気がついた。」

「え」

*目覚めたら・・・どこだここ？でした。

「え？」

「大丈夫ですか？体、痛くないですか？」

*目覚めたら・・・かわいい子がいました。
か、かわいすぎる。

「え、はい、大丈夫ですけど。」

「・・・あの、ここは？」

「？」

「え、あれ？えーと」

（あれ？

今どういう状況なんだ？

あいつにやられたのは覚えてるんだけど。

ここどこだ？

この可愛い子誰だ？）

「あの一、ここどこですか？

あなたは・・・？」

「？　ここですか？ここは私の家ですよ？

わたしはウミですよ？」

*目覚めたら・・・かわいい子の家でした。

目覚めたら・・・かわいい子のベッドの上でした。

・・・逃げた甲斐があった！違うか。

（ちょっと落ち着きますか。

うんうん、なるようにしかならないし。

ってか疑問系なんですか？）

「ウミ、さんですか」

*か、顔が赤くなってしまいました。

なんとなく。

女の子の家なんて、そんなそんな。

「はい、ウミですよ？」

（・・・なんか調子くるうなく、不思議な子だ。）

「・・・」

「・・・」

*えー、と。

落ちて着いて部屋の様子を横目で伺ってみました。

女の子の部屋です。

*女の子の部屋らしいのですが、それっぽくないです。

どこか、退廃したイメージ。

灰色のイメージ。

悲しい雰囲気。

僕が逃げ出したもののイメージ。

（！！！） 「あー！」

（ドラゴーン！！）

*やられた時のことを思い出しました。
大事な大事な友達のことを思い出しました。

(あいつはどこだ!?)

「!?!? え?」

「あ、えっと、ビックリさせてすみません。」

(っ!!体、動かせん。
やられたもんね。)

「あの、ドラゴンしりませんか?」

「ドラゴン?」

(くそ、やばい。無事なのか。)

「あの、僕はどうしてここに?」

「手当てしてくれたのは、ウミさんなんですか?」

(ドラゴは!?!?)

「はい、そうですよ?私が手当てしました!
死体の降る場所にあなたがふってきて、
でもあなたは生きていたから、一生懸命看病しました!
あの、大丈夫ですか?痛くないですか?」

(死体の降る場所?)

「あの、僕だけでしたか？
なんか他にいなかったですか？」

「え・・・他のかたは皆さんなくなっていましたか。」

(!!!) 「っ！」

(ドラゴー!!)

「あの、大丈夫ですか？」

・・・清らかなる其の癒し手、
失いし力とならん

ヒーリング」

(!?)

*彼女の手が僕の体に触れる。

(痛みが・・・やわらぐ?)

「大丈夫？」

「これは・・・」

(なんですか？

痛みがやわらぐ。

彼女の手があたたくくて、うすい緑色のモヤがかかったような？
彼女の手がやわらかい。)

*落ち着くのは、何故でしょう。

痛みが和らぐからなのか、

彼女の手が暖かいからなのか、

手から彼女のあたたくみが伝わってくるからなのか。

(ドラゴは・・・ドラゴは大丈夫。
きつと。

僕が無事だったんだ。

ドラゴがかばってくれたけど。

あいつがこんなことで死ぬわけない。

あいつはいつだって、僕の隣にいたんだ。)

「ありがとうございます。」

「え？」

「なんだか落ち着きます。

痛みもやわらぐようです…」

不思議な・・・手？ですね？

いやいや、遅くなりましたけど、

助けていただき、ありがとうございます。」

「はい

あの、大丈夫ですか？」

（この子、何度も聞いてくれるな！。

そんなに大丈夫じゃなさそうかな？

この子が優しいから、なのかな？

いい子だな！。

ちょっと頑張らないと。

元気なところ、見せないと。）

「大丈夫！ですよ。」

ありがとうございます^^」

「はい^^」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0043k/>

ベットの上で

2010年10月28日04時53分発行